



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会

〒621-8585

京都府亀岡市篠町篠野田1-1

TEL 0771-25-7313

FAX 0771-25-7312

<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/>

病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

CONTENTS

ごあいさつ	1
糖尿病内科の紹介及び 新任医師紹介	2
糖尿病教室からのお知らせ	3
平成26年度病院事業会計決算の概要	4
平成26年度病院事業会計決算の概要 生け花のご紹介	5
トピックス クリスマス会の開催について 病院職員紹介	6
地域連携医のご紹介 編集後記	7
外来担当医表	8



ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。
亀岡市民の皆様には、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平成28年の年頭に当たり、この一年の皆様のご健勝とご多幸を、心からお祈り申し上げます。

さて、高齢者の大腿骨近位部骨折を予防するために、亀岡市立病院内に立ち上げた、亀岡高齢者外傷予防研究会が発案しました標語、「カメオカ作戦」(カ:かたずけて、メ:めまいに注意、オ:おてあらい、カ:かいだん、だんさで、作戦:転倒予防作戦)は、平成27年1月に京都新聞丹波版に取り上げられ、次いでKBS京都ラジオ放送、笑福亭晃瓶のほっかほか・嘶の朝ごはんでも取り上げていただきました。一人でも多くの方が、大腿骨近位部骨折に注意していただき、骨折の予防に役立てれば、これに勝る喜びはありません。亀岡高齢者外傷予防研究会のメンバーだけでなく、応援していただいている亀岡市役所や関連施設の皆様に、あらためて御礼を申し上げます。

亀岡市立病院では、平成27年2月に玉井院長を迎え、地域医療の充実を図るために、新しい取り組みを始めております。常勤医師達が、より専門的で効率的な治療を提供するために、日々努力を惜しまずに患者様の治療に取り組んでおります。亀岡市内唯一の自治体病院として、急性期から慢性期の疾患まで、地域の中核病院として、専門性を保ちつつ、市民の皆様が安心して任せて頂ける医療を提供できるように、今後も努力してまいりますので、一層の御理解と御支援をお願い申し上げます。



亀岡市立病院 運動器疾患センター
センター長 辻 吉郎

糖尿病内科の紹介及び新任医師紹介

糖尿病内科



- ①名 前 …………… 濱口 真英 (はまぐちまさひで)
- ②年 齢 …………… 40歳
- ③出 身 …………… 京都府京都市
- ④得意とする診療内容 …… 糖尿病内科
- ⑤趣味など …………… オートバイ

⑥皆さまへのメッセージ

平成27年4月より、非常勤医師の2名体制でしたが、8月より常勤が復帰し、常勤医師1名、非常勤医師2名の3名体制で診療を行っております。また、糖尿病療養指導士の資格保持者5名をはじめとする糖尿病委員会として糖尿病のチーム医療を継続しております。

常勤医師である濱口は、糖尿病学会に所属、総合内科専門医、肝臓学会専門医を持ち、糖尿病、特に脂肪肝を有する糖尿病の治療を専門としております。脂肪肝は近年、メタボ肝炎として知られる非アルコール性脂肪肝炎を中心に、肝硬変・肝細胞がんの予防からも注目されており、亀岡市立病院では肝臓も標的とした糖尿病治療を心がけています。

亀岡市立病院糖尿病内科では、食欲のコントロール・栄養指導の実施向上を目指し、必要な方にはGLP-1受容体作動薬の皮下注射療法を実施しております。近年、週1回皮下注射剤の登場により、患者様にとって優しく痩せることのできる糖尿病治療が可能となっています。

治療難渋時、新規治療開始時、糖尿病緊急症発症時など様々な局面に柔軟に対応できる糖尿病の入院加療を行っております。教育入院は14日間のクリニカルパスを用いております。

インスリン治療の導入は入院での導入を勧めておりますが、個々の状況に対応し、外来での導入も実施しております。

外来診療は週3回、水曜日、木曜日、金曜日に行っております。管理栄養士・糖尿病療養指導師による透析予防指導を開始しました。年々増加する糖尿病からの透析に対し、栄養療法をはじめとする療養行動の支援を行うことで、腎臓機能の保存を目指しています。

また、毎月第3火曜日13時より当院ウェルネスホールにて約1時間の糖尿病教室を実施しております。糖尿病教室はどなたでも当日参加可能としておりますので、ご自身の糖尿病、またご身内の方の糖尿病について理解を深めたい方の参加をお待ちしております。

現在、持続血糖測定(Continuous Glucose Monitoring)、持続皮下インスリン注入法(CSII)、SAP(パーソナルCGM機能搭載インスリンポンプ)取り扱い施設としての届け出を準備しております。また、Inbody770の導入も予定しており、糖尿病診療に重要な情報をもたらす体成分分析、とくに脂肪重量と筋重量の測定ができる診療体制も準備しております。



- ①名 前 …………… 木村 史子(きむら ふみこ)
- ②年 齢 …………… 女性は年齢ナシということで、卒年は昭和です…
- ③出 身 …………… 生まれは京都伏見区です。生後すぐには淀にいました。
- ④得意とする診療内容 …… 内科全般
 いろんなことでまず相談したい！の
 窓口になれると思います。

⑤皆さまへのメッセージ

久しぶりの電車通勤を楽しんでいます。車内でのマンウォッチングには興味深いものがあります。

糖尿病教室からのお知らせ

新年明けましておめでとうございます。

年末年始、いかがお過ごしでしたでしょうか。普段より食事の量が増えたり、運動が思うように出来なかったり、と反省しきりの方もあれば、亀岡ハーフマラソンに参加されたり、初詣で歩いたり様々な過ごし方をされたのではないのでしょうか。

スポーツ選手の中にはインスリンを使用している方もいます。運動制限の無い方であれば、上手く補食を摂りながらフルマラソンを完走することも不可能ではありません。

糖尿病であっても、血糖コントロールを上手に行いながら、健常者と同じように色々なことにチャレンジして生活を楽しんでいただきたいと思います。

そして、糖尿病と向き合う中で疑問が生じた時、糖尿病教室に参加していただくことで解決への糸口が見つかるかも知れません。

また、糖尿病であってもなくても糖尿病に興味をもたれた方は、是非一度教室を覗いてみてください。

今後の教室開催スケジュールです。

開催日	内 容	担 当
1月19日(火)	糖尿病の食事	管理栄養士
2月16日(火)	お薬の話	薬剤師
3月15日(火)	フットケア・災害の話	看護師

糖尿病教室はどなたでも参加いただけます。
 日程・内容の変更は院内に掲示しますのでご確認ください。
 皆様のご参加をお待ちいたしております。 糖尿病委員会



平成26年度市立病院の決算概要について

亀岡市立病院は、平成16年度に開院して以来、市民の皆さまの命と健康を守るための安全安心の拠点施設として、良質な医療を継続して提供しています。

また、公立病院としての役割を着実に果たすため、地域医療機関との連携を深め、医療サービスの向上や診療体制の充実、経営の効率化に努めているところです。

今後も引き続き、職員が一丸となって、病院理念の達成と市民の皆さまから信頼される病院づくりを目指した病院運営に取り組んでまいります。

このような中、平成26年度は、電子カルテシステムの積極的な活用を通じて、さらなる医療サービスの向上に努めるとともに、自然エネルギーの利活用及び災害時のエネルギー確保の一環として、太陽光発電システムの導入に取り組みました。

1. 患者数の状況

入院患者数は、年間では25年度に比べ3,165人減少して延べ24,409人となり、1日平均では25年度に比べ8.6人減少して66.9人となりました。病床利用率は、25年度に比べ8.6ポイント減少して66.9%でありました。

また、外来患者数は、年間では25年度に比べ2,329人減少して延べ66,630人となり、1日平均では25年度に比べ9.5人減少して延べ273.1人となりました。

2. 収益的収入及び支出の状況

収益的収入は、25年度に比べ1億2,912万円減少して21億4,837万円となりました。内訳は、入院収益が8億9,501万円、外来収益が6億3,283万円、一般会計繰入金が5億3,209万円、室料差額や予防接種などの収入が8,844万円となっています。一般会計繰入金は、国の制度などにより、病院事業の経費のうち政策医療である救急救命医療や高度医療など国や市の一般会計が負担すべきと決められている経費に相当する収入です。

一方、収益的支出は、25年度に比べ1億6,702万円増加して24億5,516万円となりました。内訳は、常勤や非常勤職員の給与費が12億3,368万円、薬品や診療材料などの材料費が3億5,931万円、施設の管理運営などの経費が3億5,651万円、施設や医療機器などの減価償却費が2億5,391万円、企業債の支払利息が5,735万円、その他が7,063万円、地方公営企業会計制度改正により生じた特別損失が1億2,377万円となっています。

年間の経営成績をあらわす収益的収支差引では、平成25年度に1,065万円の経常損失(赤字)を計上しましたが、平成26年度は、1億8,302万円の経常損失を計上し、特別損失1億2,377万円を加えた純損失は3億679万円となりました。

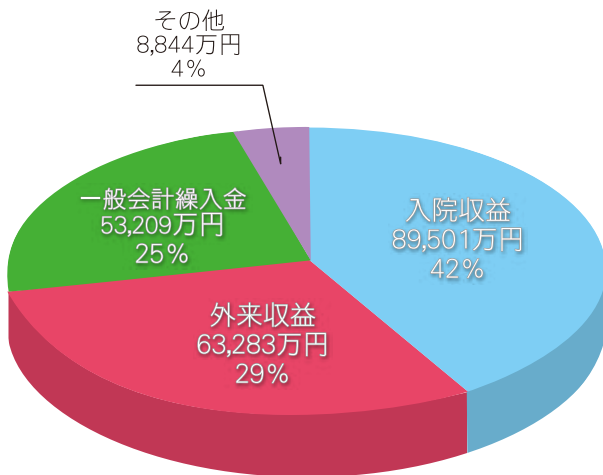
その結果、前年度からの繰越欠損金は、資本剰余金の取崩しにより3億1,304万円となったことから、制度改正により発生したその他未処分利益剰余金変動額37万円を差し引いた当年度未処理欠損金は6億1,946万円となっています。

この欠損金については、平成27年9月亀岡市議会定例会に、決算認定とあわせて資本金の額の減少についての議案が可決され、条例に基づく資本剰余金の取崩額とあわせた額の累積欠損金が減少することにより、最終的な平成26年度の未処理欠損金は1億2,377万円となりました。

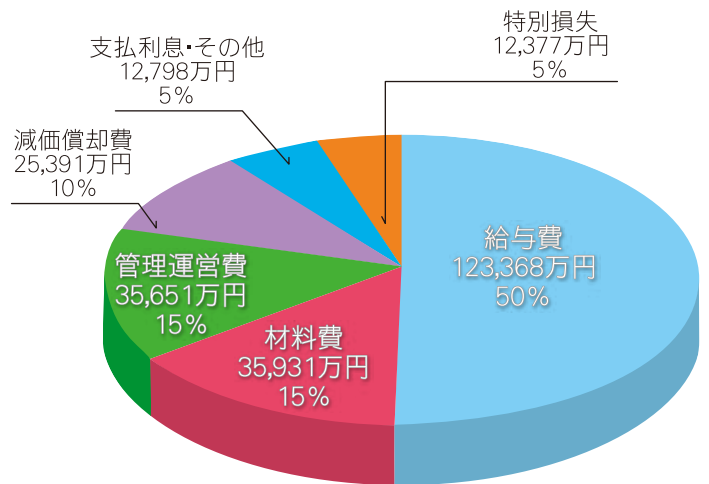
今後とも“安心と信頼の医療”を目指し、公共性と経済性を考慮して透明性のある病院運営に努めてまいりますので、市民の方々をはじめ関係各位の皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

※平成26年度病院事業会計決算の概要については、当院のホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

収益の構成



費用の構成



生け花紹介

昨年の5月から、1階売店の前で嵯峨御流華道の先生による生け花を展示させて頂いております。今回は、その数々の作品の一部をご紹介します。

お花を通し心の癒しを

嵯峨御流華道丹波司所 村田 登茂甫

山々の紅葉も美しい今日此の頃ですが日に日に寒さが増し雪景色が美しい季節となってまいります。

内丸町に亀岡会館があり四十五年間玄関口に華席を設けお花を生けて市民の皆様楽しんでいただいておりますが、亀岡会館が閉館になりましたので、この度、市役所、市立病院の皆様方にご協力いただき五月より亀岡市立病院玄関入った右側に華席をリニューアルし、設置させていただきました。

私達は嵯峨にある大覚寺、嵯峨御流華道総司所を拠点とし、華道の指導者や研究会員がお花を通し、病院利用者様、病院スタッフの皆様方に少しでも心の癒しになっていただければと思いボランティア活動を行っております。

これからも皆様方にお花を通し、和んでいただきたいと思います。皆様のご指導ご鞭撻を頂戴し司所員一丸となって研究をかさねていく所存でございます。(寄稿日:平成27年12月吉日)





Topics : クリスマス会を開催しました



昨年の12月18日(金)に当院外来フロアにて12回目のクリスマス会を開催しました。当院のクリスマス会は、普段お越しいただいている患者様と、いつもの診療の時には出来ないような交流を行い、信頼関係を深めたいとの思いから平成16年の開院時から毎年開催させて頂いております。

今年は、ボランティアの方によるフルートとハーブの演奏からはじまり、看護師等によるハンドベル演奏、手話コーラス、リコーダー演奏、各技師によるダンス、事務員によるイントロクイズやすっかりおなじみとなりました院内各医師“ドクターズ”によるコーラスなど盛りだくさんの内容で患者様と楽しいひと時を過ごしました。次回開催の折には、ぜひ、皆さまのご参加をお待ちしております。



病院職員紹介



看護部
看護師
俣野 勇介

1病棟で勤務している看護師の俣野 勇介です。もう少しで看護師になって丸2年が経とうとしていますが先輩方の丁寧な指導のおかげで看護技術もできることが増え、充実した日々を送っています。

プライベートでは、ドライブを趣味としており連休を利用し遠くまで車を走らせています。他には中学から陸上競技を続けており、今は年に1回だけですが大会に出場しているのでそれに向けた体作りなどもしています。

仕事と休日、しっかりと気持ちを切り替えることでリフレッシュすることができます。患者様と同じ目線で、

また寄り添った看護を心掛け大切にし、これからも自己研鑽に努めてまいります。今後ともよろしくお願いたします。



当院では、地域の医療機関と連携して、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み、地域医療の向上に貢献することを病院の基本理念として、患者様中心の医療を展開しています。

そこで、本院と関係の深い、地域の連携医療機関を順次紹介させていただきます。

柿花診療所

院長：田村 隆朗

住所：亀岡市穂田野町柿花畑ヶ中17

TEL：0771-25-1700

標榜科目：内科、整形外科

診療時間：午前9:00～12:00

日祝日休診

院長より一言

湯の花温泉近くに位置する柿花診療所です。平成16年から2年間院長をしておりましたが、縁あって昨年4月より出戻って参りました。かつての外来の顔なじみで今も通院されている方々は、お元気でお過ごしなのですが、それでも10年という時の流れは嫌でも感じずには居れない今日この頃ではあります。

出身医局は府立の第1外科ですので消化器外科を専門としておりましたが、この10年間で内科・整形などと診療の幅は広がりました。とりわけアンチエイジング医療への取り組みから5年前に

日本抗加齢医学会専門医を取得した事は外科医一筋で視野の狭かった以前に比べると驚天動地の出来事でございます。

亀岡市立病院には大学の同窓生が在籍されていることもあり、常々大変心強く感じております。その昔、堀川病院でお世話になった玉井先生が、新たに院長としてご着任されたことにも一方ならぬご縁を感じております。今後ともどうぞよろしく願い申し上げます。



編集後記

皆さま、明けましておめでとうございます。日に日に寒さ増すこの季節、皆さまはいかがお過ごしでしたでしょうか？

さて、2009年9月から始まりましたこの広報誌「桔梗」も今回で記念すべき20号を迎えることが出来ました。その間、当院の診療のこと、スタッフのご紹介や体制の移り変わり、ホットな出来事などさまざまな情報を発信して参りましたが、少しでも皆さまの体と心の健康にお役立て出来ておりましたら幸いです。

今年は申年ということで、皆さまに更なるウキウキをお届け出来るよう、これからも努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

広報委員会事務局 谷 裕幸(病院総務課)

広報誌読者からのご意見等募集案内

本誌『桔梗』の表紙や挿絵に掲載させて頂く写真やイラストを募集させていただきます。テーマの規定はありません。みなさまより多数のご応募を心よりお待ちしております。

採用、不採用に関わらず、写真やイラスト、画像データ等はお返却できませんのであらかじめご了承下さい。詳細につきましては、下記担当者までお問い合わせをお願い申し上げます。

【担当者】亀岡市立病院 病院総務課 谷 (平日、午前10時から午後3時まで)

外来担当医表

診療科	月	火	水	木	金
消化器内科	うえ はら ゆきこ 上原 有紀子	たけ たに ひろ よし 竹谷 祐 栄	おか だ よし ひさ 岡田 頼久	—————	岡田 頼久
循環器内科	にし まさ ひろ 西 真 宏	やま なか りょう えつ 山中 亮悦	もと やま しんいちろう 本山 晋一郎	ひく い けん すけ 福居 顯介	わ だ なお とし 和田 直敏
一般内科	き せら たい こう 木村 兌 弘	けい ち ら なつ や 計志 良 夏 哉 <small>(予約のみ)</small>	せら かみ まさ お 村上 雅 朗	き せら ひろ こ 木村 史 真 英 <small>(予約のみ)</small>	ち ねん よし あき 知念 良 顕
神経内科	—————	—————	—————	おお みち たく ま 大 道 卓 摩	—————
糖尿病内科	—————	—————	はし 橋 もと よし たか 橋本 善 隆	—————	おお さか たか しみ 大坂 貴 史
糖尿病内科 (午後)	—————	—————	はま 濱 ぐち まさ ひで 濱 口 真 英	濱 口 真 英	濱 口 真 英
ペースメーカー 外来	—————	—————	—————	—————	福居 顯介 <small>(偶数月の第2週)</small>
皮膚科	—————	—————	なか い のり あき 中井 章 淳	—————	あさ い じゅん 浅井 純
泌尿器科	—————	担当医	—————	—————	—————
泌尿器科 午後(2時～4時)	—————	—————	—————	ぬく い まさ のり 温 井 雅 紀 <small>(第2・4週)</small>	—————
外科1診	あま いわ ひさし (第1・3・5週) 多田 浩 之 <small>(第2・4週)</small>	担当医	た なか ひろ き 田中 宏 樹	天池 寿	多田 浩之
外科2診	—————	みや もと けい こ 宮本 景子 <small>(乳 腺)</small>	—————	ゆたか ようじろう 豊 洋次郎 <small>(呼吸器)</small>	—————
外科 午後(予約)	田中 宏 樹 <small>(乳 腺)</small>	宮本 景子 <small>(乳 腺)</small>	田中 宏 樹 <small>(乳 腺)</small>	—————	—————
麻酔科 (パインクリニック)	はし もと とも こ 橋本 朋子	—————	—————	—————	橋本 朋子
眼 科	なが た けん じ 永田 健 児	担当医	—————	担当医	—————
整形外科 1診	さか べ とも や 坂部 智 哉	だま い かず お 玉井 和 夫 <small>(予約のみ)</small>	坂部 智 哉	つじ よし ろう 辻 吉 郎	辻 吉 郎
整形外科 2診	いち まる こう ぞう 市丸 宏 三	市丸 宏 三	市丸 宏 三	—————	担当医
整形外科 3診	玉井 和 夫	—————	—————	—————	—————
小 児 科	てら まち しん じ 寺町 紳 二	寺町 紳 二	寺町 紳 二	寺町 紳 二	寺町 紳 二
小児科 午後(予約)	寺町 紳 二 <small>(循環器)</small>	寺町 紳 二 <small>(予防接種)</small>	寺町 紳 二 <small>(予約外来)</small>	寺町 紳 二 <small>(循環器・アレルギー)</small>	寺町 紳 二 <small>(予約外来)</small>

亀岡市立病院は、在宅で療養されている高齢者等を支援する 京都府の在宅療養あんしん病院に登録しています。



JR馬堀駅から徒歩約5分 / 京都縦貫道篠インターから車で約5分 / 駐車場(輪)場有

亀岡市立病院

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田1-1
 TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312
<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/access/index.html>

「がんばろう日本」～亀岡市は東日本の復興を支援します～